

今までもそしてこれからも 線虫防除の決め手は

カネショウ

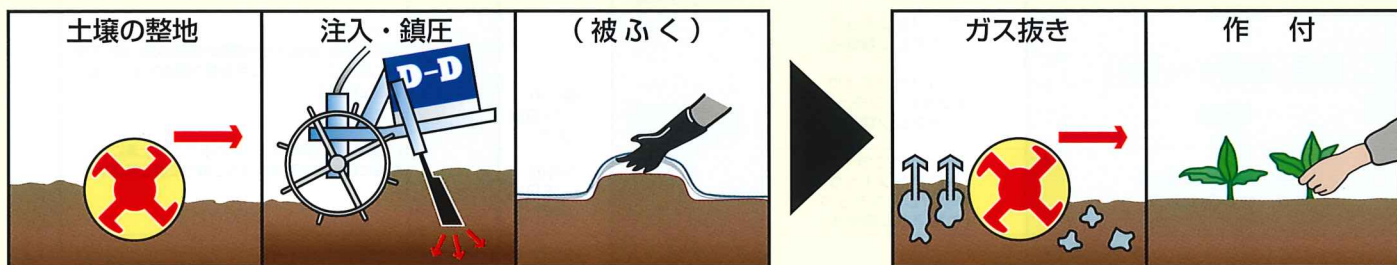
D-D[®]

成分：1,3-ジクロロプロペン … 97%
毒性：医薬用外劇物

D-Dは、幅広い作物の土壌線虫防除に優れた効果を発揮します。
アグロカネショウの土壌病害虫防除技術とともにお届けします。



◆上手な使い方



◆処理から作付までの目安

夏 期	処 理	6~7日	ガ ス 抜 き	4~5日	作 付
春・秋		7日		7日	
早春・晩秋		10~12日		7~10日	

◆土壌病害との同時防除やネグサレセンチュウの被害の多い場合

（バスアミド微粒剤との併用が効果的です。
バスアミド微粒剤を土壌に混和後D-Dを所定量注入し、表土を被ふくしてください。
所定期間経過後ガス抜き、作付してください。）



アグロカネショウは土壌病害虫防除の総合メーカーを目指します。

アグロ カネショウ株式会社
東京都港区赤坂4-2-19
®はアグロ カネショウ(株)の登録商標です。

弊社土壌分析室の分析
内容詳細は、HPから
ご確認頂けます。



作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	D-Dを含む農薬の総使用回数
ブロッコリー カリフラワー	テンサイシストセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
はくさい、ほうれんそう、キャベツ					1)全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
レタス、非結球レタス	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ/10a (1穴当り1.5～2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	1回
きゅうり、すいか、いちご、トマト、ミニトマト、メロン、かぼちゃ、なす、ピーマン、とうがらし類、まくわうり だいごん、はつかだいごん、にんじん、かぶ、ごぼう てんさい、こんにゃく、さといも、らっかせい、しょうが、やまのいも、みょうが(花穂)、みょうが(茎葉)、しそ、しそ(花穂)、バジル、うど 薬用いんじん、食用ぎく、オクラ、にがうり、もりあざみ、らっきょう、みしまさいご、さやいんげん、にら、つるむらさき、非結球あぶらな科葉菜類					1)全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
せり科葉菜類	ネダニ類	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。	1回
ねぎ					1)全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	
豆類(未成熟、ただし、えだまめ、さやいんげんを除く)	ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ	15～20ℓ/10a (1穴当り1.5～2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
かんしょ	ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～30ℓ/10a (1穴当り1.5～3mℓ)				
	うり類(漬物用)	センチュウ類 コガネムシ類幼虫	15～20ℓ/10a (1穴当り1.5～2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。
だいず えだまめ		ダイズシストセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)			
	ばれいしょ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	15～20ℓ/10a (1穴当り1.5～2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土し、ポリエチレン、ビニール等で被覆する。 全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。
ジャガイモシストセンチュウ		30～40ℓ/10a (1穴当り3～4mℓ)				
ジャガイモシロシストセンチュウ		40ℓ/10a (1穴当り4mℓ)				
茶	ネコブセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	作付の 10～15日前 まで	1回	全面処理 耕起整地後、30cm×30cm間隔で地表から深さ15cmに所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。	1回
きく	ネグサレセンチュウ	15～40ℓ/10a (1穴当り1.5～4mℓ)				
花き類・観葉植物(きくを除く)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫	15～20ℓ/10a (1穴当り1.5～2mℓ)	植付の 10～15日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、縦横30cm間隔の畝盤の目に切り千鳥状に深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。 2)作業処理 は種又は植付前にあらかじめ予定された溝に30cm間隔に所定量の薬液を注入し直ちに覆土鎮圧する。	1回
樹木類	イシクセンチュウ ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ コガネムシ類幼虫					
すぎ・ひのき(は種床) すぎ・ひのき(床替床)	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20ℓ/10a (1穴当り2mℓ)	作付の 30日前 まで	1回	1)全面処理 耕起整地後、30cm×30cm間隔で地表から深さ15cmに所定量の薬液を注入し、直ちに注入口をふさぎ、鎮圧する。 2)畦内処理 植付前、畦立・畦面被覆後に、植付予定位置の深さ15～20cmに所定量の薬液を注入し、直ちに覆土鎮圧する。但し、ガス抜きは行わないこと。	1回
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	4～6ℓ/10a (1穴当り1.3～2mℓ)				

△ 効果・薬害等の注意

- 土壌中にガスを十分拡散させるため、耕起、整地はていねいに行ってください。
- 生育中の作物には薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- 処理は原則として作付の10～15日前に行い、作付の3～4日前に畑を耕起して十分にガス抜きをしてください。ガス抜きが不十分な場合には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 処理後大雨があったり、土壌が重粘土質で通気の悪い所では、ガス抜きを特に念入りに行ってください。
- 温度の低い時、薬量を多くした時は、注入から作付までの期間を少なくとも1週間くらい長くしてください。
- 処理後、未消毒の土がなるべく混入しないよう注意してください。
- ばれいしょのそうか病に対しては、地温が低いと効果が不十分な場合があるので注意してください。
- 茶葉を収穫する茶樹成木には使用しないでください。また、茶樹幼木に使用する場合は、翌年に茶葉を収穫しないでください。
- ミツバチの巣箱周辺での使用はさけてください。
- 処理後の放置期間と効果、薬害との関係は、土壌の種類、腐植土の多少、温度、土壌水分、作物の種類によって様でないので本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法などを誤らないよう注意してください。特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

魚毒性等…水産動物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。使用量に合わせ秤量し、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管…密栓し、火気を避け、食品と区別して、直射日光が当たらない冷涼・乾燥した所に種子、苗、肥料、他の農薬等と隔離しカギをかけて保管してください。

△ 安全使用上の注意

- 【医薬用外劇物】** 取扱いは十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐かせないで、保温して安静にしながら、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には通風の良好な場所で足を高くし、顔を横に向け、体を暖め、頭部を冷やして安静にしながら、直ちに医師の手当を受けさせてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 本剤の投薬及びガス抜き作業の際は吸入(活性炭入り)付き防護マスク、不浸透性手袋、保護眼鏡及び長ズボン・長袖の作業衣を着用し、薬液が皮膚に付着したり、揮散したガスを吸い込んだり、また薬液やガスが眼に入らないよう注意してください。
- 作業に際してはガスに暴露しないよう風向き等を十分に考慮してください。特に住宅付近での使用にあたっては十分注意してください。
- 作業後は直ちに手洗、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いは十分注意してください。
- 本剤が衣服等に付着した場合には直ちに着替えて、本剤が付着した衣服等は他のものとは分けて洗濯し、臭気が抜けるまでは身につけないでください。
- 作業中及びくん蒸中の圃場へ小児等作業に関係のないものや家畜、家禽が立ち入らないよう十分に注意してください。
- 街路、公園等で使用する場合は、作業中及びくん蒸中に小児や作業に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

●使用前にラベルをよく読む ●ラベルの記載以外には使用しない ●小児の手の届く所には置かない